

人口 8,624人

男 4,079人

女 4,545人

世帯 1,921

(45年5月1日現在)
住民登録人口

あ に

編集と発行 秋田県阿仁町役場総務課
印刷所 秋田県阿仁町阿仁合印刷所

45年

5月

91号



4月26日小淵で婦人消防隊の実地訓練

ガンバルかーちやん消防

小淵で消火訓練

4月26日午後1時から小淵部落で婦人消防協力隊の訓練がありました。正規の分団員の指導を受けながら隊長の若松よねさんほか31名の婦人隊員は火災が発生した、という想定のもとに、実践しながらの訓練をしました。ポンプ操作、ホース運搬、放水と、各班単位に整然とした訓練態度は真剣そのもの、3時間に及ぶ訓練で汗びつしよとなりながらも「消防のつらさをはじめて知りました、でもやり逃げます」と決意を示していました。なお協力隊では防火活動として、各家庭に消火用バケツを配置しています。

5月13日は上新町大火の三周年にあたります。各地でしきりと火災が発生していますが、火事の恐ろしさはもう充分に知っているはず、くれぐれも用心下さい

もしも火災が発生した場合は、至急もよりの営林署
專業所か、役場(二〇番)に連絡下さい。

- ◎ 山野に火入れする場合は七日前に役場へ届出て
必ず許可を受けること。
- ◎ 火入れは風のない日に充分な準備をしてから行
なうこと。
- ◎ 山菜取りなどで入山する時は吸いながら入れを持
参し、たばこの火には特に注意して下さい。
- ◎ 山での「たき火」はしないこと。

山火事はせつかく育てた資源を一瞬にして奪つてしま
います。
心なき人のたばこの火や、たき火が主な原因となつ
ていますが、郷土の資源を保護するためにも、みなさ
んの協力をお願いします。

山火事の防止

特に「たばことたき火」に注意

町政の橋渡しし役を感謝

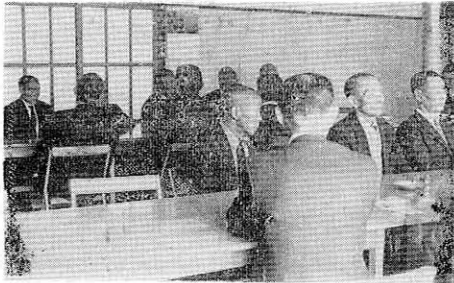
部落連絡員会議開く

町政が円滑にすゝめられるカゲには、多数の町民の協力があります。

役場からの各種チラシや広報などを、各家庭に配布してくださる部落連絡員は、町と各家庭の橋渡し役として大切なしごとをしてきています。

四月二十四日午前十時半から公民館で、部落連絡員会議を行いました。

当日は三十余名の部落連絡員と、役場からは町長をはじめ各課長が出席し、町長からは連絡員の日頃の労苦に対し感謝とお礼のことばを述べ、ひきつづき質疑応答がなされました。



会議終了後、一年間の労苦をねぎらい慰労会を行ない卒直な意見交換をし、午後三時散会しました。

各部落の連絡員は次の方々です。(敬称略)

部落連絡員名

- | | |
|------|---------|
| 部落名 | 連絡員 |
| 上小様 | 戸嶋元五郎 |
| 下小様 | 柴田兵吉 |
| 小淵 | 柳谷千代松 |
| 吉田 | 梅井定次郎 |
| 湯口内 | 佐藤竹治郎 |
| 大町 | 梅村為治 |
| 横町 | 庄司助松 |
| 三軒町 | 片山誠司 |
| 長野町 | 伊藤泰治 |
| 下浜 | 吉田一雄 |
| 真木 | 工藤雄 |
| 一新町 | 沢井作蔵 |
| 御蔵社宅 | 橋本孝 |
| 三両 | 佐々木敬 |
| 鉄道 | 畠山健蔵 |
| 上新町 | 小林忠男 |
| 畑町 | 齊藤文雄 |
| 畑町社宅 | 庄司忠雄 |
| ク 東裏 | 高橋亀五郎 |
| 小沢 | 加賀谷鉄郎 |
| 荒瀬川 | 杉田竹蔵 |
| 荒瀬 | 福島吉五郎 |
| 露熊 | 中島貞治 |
| 萱草 | 越前谷武左衛門 |
| 根子 | 山田喜代治 |

人類愛に奉仕する 日赤社費にご協力を

伏影 伊東敏雄
笑内 中嶋礼治
鳥坂 松橋勝美
幸屋渡 松橋勇蔵
幸屋 西根正
新中 松橋昇
比立内1区松橋弥吉
2区松橋徳治
牛滝 中井広治
長畑 菊地正美
戸島内 鈴木勝憲
中村 鈴木時久
打当 鈴木寛一郎
畑町東裏新町管住宅 湊 邦造
水無上倍 殿村義郎

日本赤十字社が創立されて九十二年になりますが、その間、人間のしあわせと世界の平和の精神をもつて社会奉仕の活動をつづけてきました。

阿仁町でも先の上新町の大火の折は、日赤からの温かい援助がさしのべられてい

ました。

なお、阿仁町では十九万六千二百円が目標とされています。

健康おめでと

優良家庭に

蒲さんら三十八世帯

人間にとって最大のよろこびは健康でないでしょうか。

家族のみんなが健康な家庭は平和で明るいといわれます。

町では、このたび国民健康保険に加入している家庭で、昭和43年度中に一度も医者にかからず、しかも保険税を完納している家庭を健康優良家庭として表彰し

記念品を贈りました。

このよろこびをいつまでもつづけてほしいものです

優良家庭は次の通りです

◎被保険者二名以上

蒲貞次郎(上小様)、辻兼松(湯口内)、山田徳治(吉田)、杉田律、津田秀雄、米谷きえ(水無)、安東完、高井落三郎(下新町)、庄司清治(畑町東裏)、木村金次郎(上新町)

◎被保険者一名

吉田金一郎(吉田)、金沢ヨシ、桜田テツ、安保高俊、武田久蔵、大井三郎(下新町)、藤根カネヲ(荒瀬川)、伊東孝徳(伏影)

加賀谷久雄、湊トキエ、湊栄興(荒瀬)、竹中イヨ(小沢)、佐藤半五郎(根子)

(柴田一忠、伊藤盛一(鳥坂)、福田ツルエ、高関吉蔵(長畑)、鈴木寅吉、松橋鉄明、佐藤清二(幸屋渡)、松橋朝五郎、佐藤孝司、田口タマ、加藤政五郎(比立内) 以上 敬称略

交通災害共済に加入しましょう

交通災害共済に加入しよう。

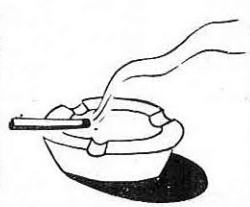
掛金 1人 300円、幼稚園児小学生は半額

期間 45年4月1日～46年3月31日

災害の程度によつて5千円から最高10万円までの共済金が給付されます。

申込は役場か支所へ。

タバコは町内で買いました



みなさんが毎日たばこを吸っているたばこは、地元での売上の十八%がたばこ消費税として町の貴重な財源となり、道路や学校などの建設に役立てられています。

昨年は町に七百五十二千七百二十円の収入がありました。

たばこを買う場合は町のためにもぜひ町内から買うように致しましょう。

民放秋田放送テレビ

いよいよ工事着工

電波の放送は九月頃

ことし建設が予定されている民放秋田放送テレビの中継所工事が、いよいよ着工されることになり、その現地調査が四月十六、七の両日現地で行なわれました

場所は湯口内のNHK中継所のある地点で、当日は局から技師長室の副部長と大館支局長の二人が見え、建設現場の状況を調査しました。

現地はまだ残雪がありましたが、雪溶けを待つてたぐちに工事にとりかゝる予定で、建設費は約千四百万円、工事が完成して電波が



(建設地の現地調査)

七等勲章に 消防功勞で



仁町で湯口内の辻子之松氏(六九)が勲七等青色桐葉章をうけられた。

天皇誕生日(四月二十九日)全国的に叙勲の発表がありました。阿

三十余年の永年にわたる消防功勞に対し贈られたものです。心からお祝い申し上げます。

放の青森放送にかわつて、秋田放送テレビ(ABS)が見られるようになります

なお、この建設に対し、町と地元から四百万円が、建設費の一部負担金として支出されます。

商業統計調査にご協力下さい

二年に一度通商産業省で実施している商業統計調査が、ことしは第十回目をむかえて、六月一日全国一斉に行なわれることになりました。

この統計調査の目的は、全国の商店をもれなく調査し、その販売活動の実態や全国的な商品の流れを明らかにするもので、商店および飲食店が調査対象となっています。

阿仁町では約百六十の店舗があつて四名の調査員によつて行なわれますが、近日に調査員がお伺いします。

調査の内容については秘密とされ、税金の資料などに使うことは、固く法律で禁じられておりますので、よろしくご協力下さるようお願い致します。

連青会長に戸嶋くん

本年度事業計画も決る

阿仁町連合青年会の総会が、四月十二日大阿仁木材厚生センターで開かれ、四十五年度の運動方針や事業計画、新しい役員がそれぞれ決まりました。

- 1. 現在の町青年会員は百四十名ほどで、三、四年前の四百名近かつた頃にくらべて半数以下に減つておりますが、きびしい社会状況のもとで青年としての果たす役割も多く、今後の活躍が期待されております。
- ◎運動方針
- 1. 住みよい地域社会をつくるための努力
- 2. 豊かな青春を送るための努力
- 3. 組織を強化し、生き／＼とした活動をするための努力
- 4. 平和と民主主義を守るための努力

◎主要事業計画

- 六月 森吉登山のつどい
- 七月 青年婦人合同町政懇談会
- 八月 青年のスポーツ芸能の祭典
- 十月 青年問題研究集会
- 二月 女子青年のつどい

年間行事、機関紙発行

- ◎役員
- 会長 戸嶋悦男 (三枚)
- 副 加賀谷義忠 (中村)
- 〃 湊 一二 (中央)
- 〃 春日幸子 (大石)
- 会計監査 齋藤敏雄 (大石)
- 〃 鈴木米孝 (中村)
- 常任委員
- 高塚光広 (中村)
- 鈴木ミチ子 (〃)
- 松橋恒男 (中央)
- 佐藤ナミ (中央)
- 佐藤忠悦 (中央)
- 佐藤賢治 (根子)
- 柏木博美 (大石)
- 事務局長 西根邦明 (中央)
- 次長 鈴木千代子 (中村)

相談の心配ごと

毎週水曜日 役場で開設

ご承知とは思いますが、毎週水曜日は「心配ごと相談日」となつています。

家庭生活をはじめ、どんな困りごとでも結構です、心配ごとがありましたらご相談下さい。

役場から委嘱された相談員が親身になつて相談に応じます。

時間は午前十時から午後

町政のしおりを発行

どうぞご利用を

三時まで、役場二階日本間で行なつています。

町ではことしはどんなことをするのか、ということをお知らせするため、「町政のしおり」第五号を発行しました。内容は四十五年度の町政の主なる施策や事業となつております。

町内全世帯と各職場に配布しますのでご利用ください。

なお、別に必要でしたら役場総務課に連絡いただければおわけ致します。

月刊紙「あきた」で郷土を知ろう

県政の内容や、県内各地の動向などが一目でわかる月刊誌「あきた」を読んでもみませんか。

美しいカラーの表紙、美麗なグラビア……秋田県の産業経済、生活文化とあらゆる面についてわかりやすく書かれてあります。

県民の一人としてぜひ読んでほしいもの、講読をおすすめします。

ご希望の方は役場総務課へ申し込み下さい。毎月お届けします。一冊五十円。

町の生んだ歌人

安成氏の歌碑を建てよう

建設協賛会が結成

本県の生んだ歌人、安成二郎氏の歌碑を建設しようという運動がすゝめられていきます。

安成二郎氏は大正年代の歌人として、本県及び東北の歌壇の指導者であつたと同時に、同年代の先見的な歌人として、その作品はいつも引用されるほど有名でなかでも「とよあし原のみずほの国に生れ来て米が食へぬとは嘘のよな話」という歌は、大正時代のデモクラシーをもつとも適切にうたつた歌として、現代史にもその名をとどめています。

安成氏は阿仁町銀山の生まれ 八十三歳の高齢で現在東京に住んでおられます。歌碑建設は、歌人としての氏の偉績をたゞえようと県内の歌人有志によつてすゝめられていますが、これにあわせ、氏の誕生地でもあることから 地元として

も積極的に運動をすゝめようということになり、去る四月二十八日安成歌碑建設協賛会が公民館で結成されました。

建設費の目標額は五十万円ですが、すでに県内各地の歌人、文人から十六万円

余の寄付金が寄せられております。

協賛会では町内各家庭に趣意書を配布して協力をお願いしてありますが、寄付金は一口五百円以上となつており、協賛会事務所(教育委員会)で受付けています。建設の時期は六月末をメドとし、場所は町内の歌碑にふさわしい適当な場所を選んで建設する予定です。

碑が建設されるのは、単に氏の偉業をたたえるだけではなく、この機会に町の文化活動をすゝめる刺激剤として、また 建設後は郷土の新しい文化資源 観光資源ともなります。郷土のためにもぜひみなさんのご協力で 一日も早く実現させたいものです。

苦情

うけたまわります



行政相談員

高田 鉄雄

国の役所のしごとについて不や苦情がありましたらご相談ください。

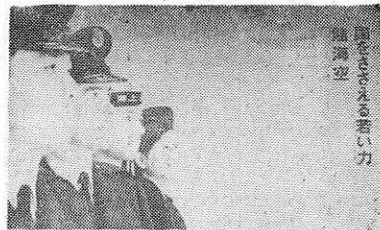
最近では交通、道客、鉄道、厚生、労働関係などの相談をうけています。

こうした苦情については相談の内容に応じて手続方法を教えたり、関係機関に連絡して解決を促すお手伝いをしますので、そのような場合には口頭でも、文書でも結構です、気軽にご相談下さい。

勿論無料ですし、自分の名前を出したくない方、申し出の内容を秘密にされたい方は、ご希望にそつようにいたしております。

阿仁町下新町 電話30番

自衛官募集



常時募集、役場総務課へ

国を支える若い力、自衛官を募集しています。

自衛隊の規律ある団体生活はりつばな社会人を育成します。

また 待遇も有利な上、自動車の免許をはじめとする各種国家免許を得る機会もあり、入隊者によるこぼれていきます。

募集事務は役場で常時行なつていきますので、各種資料もありませんからいつでもおいでください。

なお、現在海上保安学校学生も募集中です。
五月二十九 まで。



心のカギとハンドルをしつかり

交通事故と

あきまに注意

陽気な春はなんとなく人の心もゆるみがち。長かつた冬から解放されてレジャーや各地の祭典、また農家では農作業に追われて家も留守がち、そうした心のスキ間に入りこむのが、交通事故や空巣です。

◎ 家を留守にするときは必ずカギをかけ、できたら近所に連絡して出かける。

◎ レジャーや祭典など、祝酒に酔つての運転は絶対禁物、酒を飲んでハンドルをにぎつたその時から、あなたは犯罪者となるのです。

心のカギをガツチリ、心のハンドルをしつかりと握り、不幸な事態が起こらぬようお互いに注意いたしましょう。



横断歩道

慶弔だより4月

◎ こんには、赤ちゃん 出生 (保護者) 住所

- 菊地 博忠 (忠雄) 幸屋渡
- 西根 洋子 (鉄郎) 〃
- 佐々木香苗 (邦夫) 上新町
- 柴森 葉子 (憲作) 大町
- 田口小百合 (米雄) 根子
- 鈴木 睦子 (寅男) 小淵

◎ 結婚！おしあわせに

- (佐藤 正一) 比立内
- (佐藤 フサ) 秋田市
- (伊東 忠男) 伏影
- (上杉 ミヤ子) 長畑
- (伊藤 一男) 幸屋渡
- (松橋 順子) 戸島内
- (柴田 路子) 東京都

死亡！おくやみ申します

- 児玉喜太郎 (75) 下新町
- 佐藤トクミ (51) 笑内
- 鈴木 丹治 (60) 荒瀬
- 柴田キクエ (61) 小様
- 山田 富蔵 (37) 根子
- 若松 久子 (0) 東裏
- 松橋 明夫 (41) 幸屋渡
- 鈴木 藤松 (74) 打当

(伊島 隆 合川町)

(加賀谷まき子 畑町)

(中村 春雄 荒瀬)

(桜田あや子 〃)

(嘉成 久雄 吉田)

(庄司テツ子 森吉町)

(佐々木重民 大館市)

(湊 幸子 新町)